

仁敬 だより

JINKEI DAYORI

仁厚会・敬仁会合同広報誌

2025年1月1日発行

発行：社会医療法人 仁厚会
〒682-0023 鳥取県倉吉市山根43番地
TEL (0858) 26-1012
社会福祉法人 敬仁会
〒682-0023 鳥取県倉吉市山根55番地
TEL (0858) 26-3864
<https://www.med-wel.jp/>

2025
新春号

2024年度 共通法人理念

仁は人の心なり

仁を以ってかかわるすべての人たちの
幸せを追求し、
地域社会とともに歩み続けます。



C O N T E N T S

- P2-3 新年のご挨拶
- P4 医師の明瞭解説
医療福祉センター倉吉病院 丸山祐輝医師
- P5 第1回ボッチャ交流大会開催！
- P6 地域貢献イベント実施
サンキューフェスタ2024/3施設合同はあとcafé/
ふれあいはあとまつりin綾瀬/敬仁会館まつり
- P7 サービス向上取り組み 他施設・事業所との交流
- P8 令和6年 仁厚会・敬仁会 重大ニュース

初のボッチャ交流大会開催

- P9 新たに導入した治療法のご紹介
医療介護最新情報Vol.2
- P10 フィリピンから倉吉厨房へ 外国人の受け入れ
JIN'Sキッチン
- P11 健康レシピ
大平焼「雛人形」限定販売のご案内
Photo Report
- P12 News Topic
鳥取県のトリノウタ



謹賀新年

「新年のご挨拶」

社会医療法人 仁厚会
社会福祉法人 敬仁会

理事長 藤井 一博



あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

四年以上に及んだ新型コロナウイルス感染症も、一昨年五月、感染症法上の5類に移行されました。その後は感染者数も減少傾向にあり、インフルエンザ等の感染症と同様の対応となりました。この間、患者さんやご利用者の皆さまにはご協力を賜り、また、職員の皆さまにはピーク時と同様にその対応において患者さんやご利用者の皆さまを感染から守っておられるご苦労に対し感謝いたします。

昨年は、六月一日に県の中部圏域では初めての介護医療院「ふじい」を開設し、半年余経過した現在、地域の皆さまにお支えいただき、順調に運営しております。

また、医療・介護等職員の体制充実のため、外国人人材の確保にも努めています。両法人所属の留学生に安心して暮らしていただく環境整備の一環として、仁厚会旧支援センター棟の二階には外国人留学生専用住宅の整備工事が昨年十月に完了し、本年四月から入居を予定していますので、地域の皆さまとの交流が図れればと思います。

併せて、我が国のDXの推進に沿って、両法人においても医療・介護の現場で、看護や介護、関連事務について担当職員の負担軽減と効率化を図り、また患者さんやご利用者に寄り添ったIT化を鋭意進めています。今後も運用技術の向上と適切な採用により地域に貢献してまいります。

一方、外部に目を向けますと、昨年は世界も我が国も激動の年でありました。昨年に年明け早々、石川県能登半島で最大震度七の地震が発生し多くの方が被災されました。九月の記録的大雨などにより未だ復旧復興は道半ばであります。この時、本県からもDWAAT（災害派遣福祉チーム）が避難所等支援のために派遣され、両法人からも五名が参加いたしました。今後でもできる限り支援活動に参加する様努めます。

また、十月には、この鳥取県から選出されました石破茂衆議院議員が内閣総理大臣に、そして赤沢亮正衆議院議員が経済再生担当大臣に就任されて新内閣が発足しました。私も参議院議員として務めて早や二年半が過ぎましたが、国会では、参議院総務委員会などで理事を拝命し、政策課題等について関係大臣や政府関係者に質疑提言を行うなどの活動に尽力いたしております。今後も諸先輩方のご指導を仰ぎながら、引き続き、郷土鳥取県の医療・介護等の諸課題の解決のために全力を尽くしてまいります。

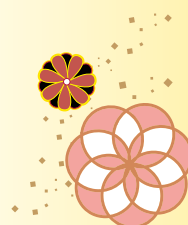
結びに皆さまの御健勝と御多幸を祈念いたしまして新年のご挨拶いたします。



新年のご挨拶

医療福祉センター 倉吉病院

院長 兼子 幸一



新年明けましておめでとうございます。新年が皆さまにとって明るく、穏やかな年になりますよう祈念申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス禍からようやく日常を取り戻したと実感出来る年になったように思います。令和五年五月に5類に移行した直後は、おっかなびっくりでマスクを外すことにも強い抵抗を感じていました。しかし、ウィルス株が弱毒化した影響もあり、実感としての脅威の程度はかなり低下したように思います。もちろん、患者さんを守る立場にある医療機関において集団感染はあってはならないことであり、今後もスタッフ一丸となって適切な感染対策の励行を続ける必要があります。他方、対面での活動が、実務だけではない人同士の交流に欠かせないものであることを改めて実感した年にもなりました。様々な人の集まりの場において、皆が直接集うことで感じられる、活き活き感、熱気、楽しさによる心理的な効果は他で代替できるものではないように感じます。それでも、コロナ禍のお陰(?)で普及した、長時間の移動をなくしてくれるオンライン会議の実務に関する効率性も捨て難く、今後も続くことを期待しています。

令和六年、倉吉病院では様々な医療や福祉に係る団体の皆さまに院内を見学して頂く取り組みを行いました。病院が患者さんやご家族にとって、オープンで、くつろげる場になるように工夫して参りたいと思います。その一環として、優れた音楽家の方に病院スタッフになって頂き、穏やかな空間創りに貢献して頂くことが出来ました。これからも、こころの不調で苦しんでいる方にとって、倉吉病院がオアシスとなることを目指して参りたいと思います。

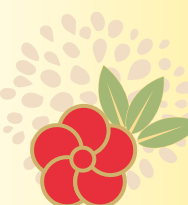
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



治し、支える病院を目指して

藤井政雄記念病院

院長 宮崎 聡



新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中賜りました数々の御支援、御厚情に対し、当院を代表して心より御礼申し上げます。

さて、昨年は新年早々能登半島地震が発生しその後、秋の豪雨災害など自然災害の多い年となりました。その後の航空機事故の教訓から日頃の防災訓練の重要性を改めて認識しております。また新型コロナウイルス感染症は冬と夏の流行がありましたが、以前ほどには現場は混乱なく対応できるようになっています。

さて当院は六月に介護医療院ふじいを開設し、従来の介護施設に入所困難な方々に利用していただいています。

中部地域は県内でも高齢化率が高く多疾患を抱えた患者さんが多く、治す医療のみならず支える医療も今後ますます重要になると思われます。入院中はもとより退院後もかかりつけ医療機能のより一層の充実化を図り患者さんを支えていきたいと考えます。

令和七年も職員一同、「地域に必要な病院」を目指して参りますので本年も変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。

何卒よろしくお願い申し上げます。



患者さんにより、病院職員により、地域社会によしの三方よしを目指して

米子東病院

院長 森尾 泰夫



新年明けましておめでとうございます。

年頭にあたりご挨拶申し上げます。昨年、世界は選挙の年でした。今年はその影響が現れる一年となります。さまざまな困難な状況が国内外にみられ、医療界もその影響を受けることが予想されます。高齢人口の増加に伴う医療費の増加、国民医療負担の増加、諸物価の高騰による病院経営コストの増加など危惧されています。新たな保険証の発行は終了し、マイナンバーカードが保険証となりました。医療のIT化により医療情報が有効に利用され、医療安全、業務の効率化が進むと期待されています。

米子東病院はこの変動する社会状況のなか、持続可能性のある医療体制を維持し、鳥取県西部において回復期、亜急性期の患者さんが元の生活ができるようにリハビリテーションを中心とした良質な医療を行っていきます。地域の医療機関、介護福祉施設、自治体と協同して地域医療の一翼を担って参ります。米子東病院は地域の期待に応えられるように人材、医療資源を整え、日々研鑽し、親切丁寧な職務を職員一丸となってやり抜きます。

新年が皆さまにとって希望にあふれた健やかな一年になりますように祈念いたします。

医師の 明瞭解説

認知症のはなし

医療福祉センター倉吉病院

丸山 祐輝 医師が
わかりやすく解説



医療福祉センター
倉吉病院
丸山 祐輝 医師

■物忘れ外来受診のメリット

認知症というのは物忘れを起す疾患であり、年齢と共にどうしても伴ってくるものです。実際、90歳以上の方々の約半数は認知症とされており、病気としてとらえるよりは長生きしている証としてとらえるほうが良いかもしれません。

物忘れ外来を早期に受診することのメリットとしては、

- 本人も周囲の人も今後の生活の備えができること
- 生活上の工夫や対応力を少しずつ身につけていくことができること
- 診断がつけばそれに対して治療を行うことで物忘れの進行を遅らせることができる

ること

● 早期に正確な診断をすることで適切な介護サービスや社会的理解が得られることなどが広く知られていると思います。ただ、これら以外にも、案外知られていない意外なメリットが存在するため、今回はそちらをお伝えさせていただければと思います。

1 脳梗塞などの早期発見

1つ目のメリットは、検査を行うことで、脳梗塞などの危険な疾患を予防できる可能性があることです。認知症で最も多いのはアルツハイマー型認知症、2番目に多いのは血管性認知症とされています。血管性認知症というのは脳梗塞などに伴って物忘れが出現するというものです。手足の麻痺を起す疾患が脳梗

塞、というようなイメージを持ちがちですが、小さな脳梗塞というのは軽度の物忘れ程度の症状しか出ないことも多く、頭部MRIを行って初めて脳梗塞が発見されることが多々あります。小さな脳梗塞がある患者さんは大きな脳梗塞を今後発症するリスクが通常の人よりもかなり高いとされています。大きな脳梗塞が起こってしまうと、その後は手足の麻痺が一生続いてしまうことも多いため、ご本人・ご家族共に非常に大変な思いをすることが多いです。だからこそ、小さな脳梗塞のうちに頭部MRIなどでの早期発見・早期治療を行うことが重要とされています。小さな脳梗塞がある人は、血液をサラサラにする薬、血圧を下げる薬、血糖値を下げる薬、コレステロールを下げる薬などを内服することで、大きな脳梗塞が起こる可能性を下げることができます。それらの薬は自宅近くのかかりつけ医さんで処方可能なことが多いため、医療機関の物忘れ外来を受診して正式に診断がついた

後は、自宅近くのかかりつけ医さんで薬を処方していただくということが可能です。

2 気分安定化のための内服治療

2つ目のメリットは、認知症という疾患に関して、物忘れ予防のための内服治療だけではなく気分の安定のための内服治療も行えることです。認知症の方々は、記憶力が下がるだけではなく、現在の日時・場所・人などについても段々と分からなくなってきました。想像していただければ分かると思いますが、そのような状況で気分が不安定になるのは人間として当然のことだと思っています。認知症の方々が、不安焦燥が強くなったり怒りっぽくなったりするのはそのような事情があります。物忘れ予防のための内服治療はある程度画一化されていますが、気分の安定についての内服治療は臨機応変な薬剤調整を必要とすることが多く、精神科の医療機関が得意とする分野です。当院の物忘れ外来では、物忘れ以外にもそういった気分安定の面についてもご

相談に乗ることができます。

倉吉病院では鳥取県の委託を受け、認知症疾患医療センターを設置し、認知症の鑑別診断や治療を行なっています。近年は隣接の藤井政雄記念病院とも連携し、アルツハイマー型認知症に対する新薬での治療にも取り組んでおります。また、認知症の患者さん同士、ご家族同士がつながる場として「オレンジドアもりのみ」も開催しております。どんなご相談でもお気軽にご連絡ください。

倉吉病院認知症疾患医療センター
直通番号 (0858) 26-11015



初開催!

第1回ボッチャ交流大会開催!

仁厚会・敬仁会鳥取中部施設



倉吉病院
兼子幸一院長による
始球式



仲間が見守る中
渾身の一投!



倉吉病院リハビリテーション室
企画者のお二人とお話を伺いました

11月7日にアゼリアホールで、仁厚会敬仁会中部エリア事業所合同レクリエーション企画「第1回ボッチャ交流大会」を開催しました。両法人から12チーム約70名の参加がありました。ご利用者、患者さん、職員の混成チームでのリーグ戦後に決勝トーナメントを行い、ボッチャを楽しみながら、事業所や世代を越えた交流がもてるよい機会となりました。

準備に協力していただいた方、参加された方、スタッフとして手伝っていただいた方のおかげで、大変盛り上がった大会になりました。



優勝

デイボッチャ チーム
(倉吉病院デイケア・グループホーム合同)



ベスト
ネーミング賞

がんばらいや北条 チーム
(ル・サンテリオン北条)



河本さん

Q. 何故この企画を?

倉吉病院内でボッチャ体験や交流会を行う中で、もっといろいろな人が「参加・体験・交流できる場」をつくりたいと思いました。

地域でも様々な対象・場でボッチャが行われているため、地域、ご利用者、患者さん、職員のつながりを広げたり、楽しみとなる活動・参加の場になると考えています。ご利用者から「目標となる大会が増えるといいけど」と言われたのもきっかけの1つです。



手嶋さん

Q. 今後の目標はありますか?

県内の精神科の病院やデイケアの患者さん、ご利用者同士で体験交流できるボッチャ交流大会や、だれでも参加できる「中部地区ボッチャ交流大会(仮)」の開催を目指しています。

★あやせババール園★ 地域子育て親子支援

10月30日 地域子育て親子を招待し、すこやか相談室を開催しました。1929年創立の人形劇団「プーク」が演じる「がんばれローラーくん」「プー吉チビのオープニングショー」40分の公演を園児も一緒に楽しみました。誰も集中力が途切れることがなく、地域の方々にも「素晴らしい人形劇をありがとうございます!」と喜んでいただきました。今後も子どもたちのすこやかな成長のため、様々な催し物で地域を支援していきます。



動く、舞台装置



感動が止まりません

サンキューフェスタ 2024

米子東病院、ル・サンテリオンよどえ、ガーデンハウスよどえ、ル・ソラリオン名和、よなご大平園

11月2日、米子東病院、ル・サンテリオンよどえを会場として、「サンキューフェスタ2024」を開催しました。西部地区での合同イベントは実に5年ぶりの開催となります。

当日は悪天候に見舞われましたが、ご利用者やご来場された方に少しでも楽しんでいただけるよう、一部会場の変更などを行い、できる限りの企画を展開しました。

ステージイベントの出演者、キッチンカーや屋内企画に出店してくださった方、ご利用者やご家族など、多くの方にご協力していただき、無事、盛況のうち幕を閉じる事ができました。



「響子供連」の皆さんによる
米子がいな太鼓



抽選会には多数参加して
いただきました

3 施設合同 はあと Café

マグノリア、ル・サンテリオン、ル・ソラリオン

11月20日、倉吉市山根のパープルタウンで3施設が協働し、オレンジカフェ企画として『はあとカフェ〜であい♡つながり♡ささえあい♡〜』を開催しました。パータン広場でカフェを展開しながら様々なコーナーを設け、約100名もの方々にお越しいただきました。

参加された方からは「簡単にできる体操が楽しかった。家でもしてみようと思う。」「介護の悩みを聞いてもらえて良かった。」と嬉しいお言葉を頂きました。

●コーナー● 介護相談・まちの保健室・体操教室・脳いきいきアート・花による健康教室・バルーンアート・コンサート・インゴル（室内ゴルフ）



大盛況の会場



大人気のバルーンアート

ふれあいはあとまつり in 綾瀬

ル・ソラリオン綾瀬、あやせババール園

10月12日、「ふれあいはあとまつり in 綾瀬」を開催しました。保育園との合同開催で、園児・ご利用者のご家族や地域住民の方々、総勢200名を超える参加があり大いに盛り上がりました。屋台や各種出店・物品販売、ゲームや人形劇等で皆さんに大変喜んでいただきました。



ふれあいはあとまつり in 綾瀬お祭り会場

敬仁会館まつり

障がい者支援施設 敬仁会館

11月27日、障がい者支援施設 敬仁会館で「敬仁会館まつり」を開催しました。ご利用者はボッチャ体験や的当てゲームを楽しまれ、創作活動としてみんなで協力してかわいいクリスマスツリーを作りました。飲食コーナーにはデザートやジュースなど、様々なブースを設けました。

当日はご利用者のご家族の方々もボランティアで運営に携わられ、盛況のうちに幕を下ろしました。ご利用者の方は「とても楽しかった」「また来年も開催してほしい」など満喫されたようでした。



職員やボランティアと
クリスマスの飾り付けを楽しむ



完成したクリスマス飾りの
前で記念撮影

ICT 導入モデル施設『高寿園』見学 ル・ソラリオン、ル・ソラリオン名和

11月29日、全国老人福祉施設協議会版介護 ICT 導入モデル事業施設『特別養護老人ホーム高寿園（岡山県津山市）』へ施設見学に行きました。

ICT 機器「睡眠センサー」や「介護記録ソフト」、「移乗リフト」など様々なものが導入され、職員及びご利用者の安全かつ効率的な介護が実現されており、業務効率化により新たな時間が確保できていました。その確保できた時間をご利用者と関わる事に使うなど、より良いサービスの提供を目指しておられました。今後の介護にどう ICT を活かすか、我々も大変勉強になりました。



スタンディングリフト
(排泄支援ロボット)

レークサイドヴィレッジ お隣の高齢者施設との交流会 グループホームゆりはま

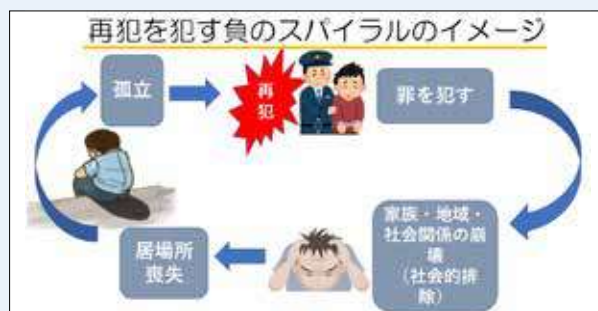
11月20日、レークサイドヴィレッジ内で隣接する特別養護老人ホームはわいあずま園との交流会を開催しました。ご利用者と職員がそれぞれ隣の施設に行き建物内を見学し、お茶を飲みながら会話をしました。それぞれの施設の中身や雰囲気を知ることができ、ご利用者からは「隣の施設に足を運ぶことができて良かった。これからも交流したい。」と声が上がりました。今後も近隣の施設と協力しあい、レークサイドヴィレッジでの生活が豊かになるよう取り組みを続けていきます。



グループホームゆりはま 交流の様子

触法障がい者支援に関する職員研修 倉吉病院、在宅サポートセンター、宿泊型自立訓練事業所あずさ

10月23日、宿泊型自立訓練事業所あずさに鳥取県地域生活定着支援センターの相談支援員4名をお招きして「触法障がい者の支援に関する職員研修会」を開催しました。当日は「地域生活移行個別支援特別加算に係る研修」「出所支援の実際」という演目で講演いただいた後、触法障がい者の支援について両事業所間で事例を踏まえながら活発な意見交換がなされました。今後も連携を深め、触法障がい者の地域移行支援を担っていきます。



負のスパイラルを断ち切る

緩和ケア学習会を開催 藤井政雄記念病院

11月30日の学習会は、県立厚生病院、野島病院、米子医療センターでがん診療に関わる方にも参加いただきました。緩和ケア病棟見学後、「せん妄」をテーマに症例発表を行い、近畿大学病院吉田健史先生のレクチャーを受け、参加者からも活発に質問や経験談が出されました。今後も他施設と交流を図り、学びを深めていきたいと思えます。



症例発表



吉田先生による講義

令和6年(1月～12月) 仁厚会・敬仁会 重大ニュース

1	藤井省三名誉会長 旅立たれる (令和5年12月29日) 藤井省三名誉会長お別れの会
2	医局新体制へ 米子東病院：森尾泰夫院長着任(4月) 倉吉病院：澤田美波医師着任(4月) ル・サンテリオンよどえ：武田二郎医師管理者就任(4月) ル・ソラリオン名和：中下英之助医師就任(4月)
3	新たな地域ニーズへ応える ◆6月1日 中部圏域初の介護医療院「介護医療院ふじい」開設 喀痰吸引や経管栄養など医療ニーズの高い要介護者の受け入れが可能となった ◆8月6日 ケアサポートマグノリア開設 ホームヘルプセンター事業所内に自費サービス事業を新設。通院同行をメインに様々な困りごとに対応 ◆ル・サンテリオン東郷 認知症対応型GH開設のための改修工事着手
4	災害医療体制の充実と職員派遣 ◆鳥取DWAT (災害福祉支援チーム)災害現場へ職員派遣 令和6年1月に発生した能登半島地震の被災者支援にて初めて災害現場へ職員を6名派遣。要配慮者へのアセスメントや福祉に関する相談対応を行い、被災者支援に貢献 ◆東京DWAT (災害福祉支援チーム)登録 ◆DPAT (災害派遣精神医療チーム)先遣隊機関として登録完了(倉吉病院) ◆非常用発電機や簡易トイレなど、不足している災害対策備品を整備
5	質の高いサービスを目指して ◆新しい治療、プログラムの開始と取り組み強化 ・アルツハイマー治療薬「レカネマブ」の治療開始(倉吉病院、藤井政雄記念病院) ・近畿大学病院緩和ケアセンター長との定期的な交流により緩和ケアの新しい知見を得る(藤井政雄記念病院) ・保育園にて英語教室、体操教室、ドラムサークルなどの専門プログラムを導入 ◆リハビリ・栄養管理・口腔管理の一体的実施 栄養ケアセンター内に口腔ケア室を設置。多職種連携によるOMAT (オーラルマネジメントケアチーム)活動を推進 ◆ル・サンテリオン鹿野大規模改修、あずさパン工房移転・改修、あやせババール園園庭改造など、建物改修・移転を進める
6	サービスの充実～様々なイベントの実施～ ◆ボッチャ交流大会やおしゃれレク、面前調理、デザートバイキングなどの患者さん・ご利用者参加イベントを実施 ◆家族交流会サンサンウォーキングや納涼祭、保育園と高齢者施設との合同イベントなど、地域住民・ご家族・施設間での交流イベントを積極的に開催
7	福利厚生の充実～働きやすい職場を目指して～ ◆外国人留学生が安心して日本で暮らせる住環境を提供するため、外国人寮を整備 ◆職員検診として歯科検診の費用助成を開始。追加メニューも検討中 ◆奨学金返還支援制度規程を新たに制定 ◆これからの法人を支えていく若手職員との定期的な意見交換会を開始(未来創造局)
8	業務効率化～患者さん・ご利用者と向き合う時間の創出へ向けて～ ◆ICTを活用し、より安全・便利に ・全事業所へ電子決裁システム導入 ・全保育所へ保育ICTサービスルクミー導入完了。午睡チェックセンサーと記録アプリも導入 ・介護施設へ見守りシステム導入拡大 ・介護・障がい記録システム更改(ケアカルテ、NDほのぼの) ◆説明動画やアンケートフォーム導入、シフト変更など業務を見直し、患者さん・ご利用者と向き合う時間を確保
9	職員による地域活動の充実 ◆フレイル予防教室や地域講座、オレンジカフェなどの地域活動や、みつぼし踊り、貝がら節まつりなどたくさんの地域行事へ参加 ◆子ども食堂かりん、ギャラリースペース設置、体育館貸出など、施設資源を地域へ提供
10	表彰・コンテスト受賞 ◆社会福祉事業御奨励のため、事業運営が優良な民間社会福祉施設として、天皇陛下より金員が御下賜される(敬仁会) ◆積極的に避難訓練を実施し、成果をあげているとして、東京消防庁より自衛消防組織業務適切功労賞を受賞(西新井) ◆とっとり農福コンテスト「奨励賞」受賞(倉吉病院) ◆健康経営マイレージ事業 令和6年度協会けんぽ支部長表彰受賞(仁厚会・敬仁会) ◆全国人権・同和教育研究大会 鳥取県代表(敬仁会伊藤誠本部事務部長、ル・サンテリオン：ウェンディ＝エリスナさん)

椎間板内酵素注入療法、膝関節に対する 多血小板血漿(PRP)治療 導入

米子東病院では患者さんの幅広いニーズに応えるため、以下の治療技術を新たに導入しました。

椎間板内酵素注入療法

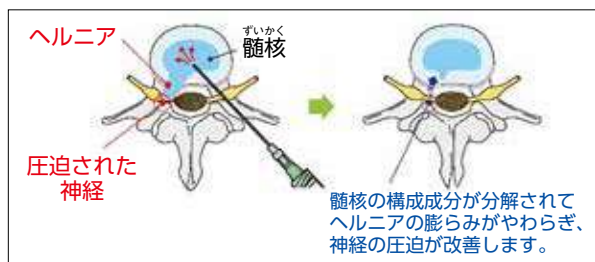
対象：腰椎椎間板ヘルニアでお悩みの方
期間：1泊2日入院
費用：63,890円
※保険診療、3割負担の場合

どんな治療法？

椎間板内に
薬剤を注入し、
ヘルニアによる
神経圧迫を
軽減します

今までと何が違うの？

手術より
身体的負担は少なく、
保存療法より
治療効果が見込めます



椎間板への酵素注入イメージ

膝関節に対する多血小板血漿(PRP)治療

対象：膝関節の疾患や痛みにお悩みの方
(変形性膝関節症 等)
期間：4～8週間程度
費用：150,000円 ※自由診療
その他初診料、検査費等別途

何をするの？

血小板由来の
成長因子を抽出し
患部に注入します

①採血約50mL

②感染症検査・
加工・無菌試験

③生成された
薬剤で治療



メリットは？

入院の必要が
ないため、
身体への負担が
少なく済みます

どんな効果があるの？

抗炎症作用や鎮痛作用の
継続的効果が期待できます

お問い合わせ先：米子東病院外来 0859-56-4071



電子処方せんのご利用で 安全でスムーズなお薬の管理を

電子処方せんとは、これまで紙で発行していた処方せんを電子化したものです。皆さんが今まで以上に安心して薬を受け取ることができるようになります。



メリット

- 他で処方された薬と飲み合わせの悪い薬の処方を防ぐことができる
- 紙の処方せんとは違い、処方せんを紛失する心配や紛失時の再発行の手間がなくなる
- お薬手帳を忘れても飲み合わせが確認できる

電子処方せんをご希望の場合

医療機関

- ①来院時にマイナンバーカードで受付
- ②処方せん発行方法として「電子処方せん」を選択

薬局

- ③電子処方せんに対応した薬局にてマイナンバーカードで受付
- ④調剤を受ける処方せんを選択

※受付時に本人確認が必要です。

また、過去のお薬情報の提供について同意／不同意を選択することができます。

倉吉病院、藤井政雄記念病院、米子東病院でも導入の準備を進めています。

電子処方せんについての詳細は厚生労働省のホームページをご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/denshishohousen_kokumin.html



厚生労働省 HP
電子処方せん
(国民向け)

仁厚会倉吉病院厨房で、フィリピンより特定技能制度による調理人財の受け入れを行います。外国人材の確保の取組み、受け入れに至った経緯をフィリピンの特色とあわせてご紹介します。

特定技能制度とは？ 人手不足対応のための一定の専門性・技能を有する外国人の受け入れ制度

◆フィリピンに着目

昨今の人財不足に伴い、仁厚会・敬仁会においても外国人材の確保・受け入れを進めており、敬仁会ではすでにインドネシアやベトナム出身の介護福祉士が活躍しています。

この度は、「親切で丁寧、ホスピタリティ精神に溢れた人が多い国民性」「英語が公用語のひとつとなっていること」等の理由から、フィリピンにも着目をして採用活動を行ってきました。

◆現地に赴き面接

令和6年9月には、実際にフィリピンの日本語学校に訪問し面接を行いました。学生からは日本で就労することに対する強い思

いを感じることができ、令和7年4月より、2名の受け入れを行うことといたしました。

◆フィリピンタイム！？

受け入れ先の倉吉病院厨房では、1日でも早く慣れていただけるよう業務の見直し等の準備を進めていますが、実際にフィリピンを訪問したことで価値観の違いなども考慮しておく必要があると感じています。フィリピンでは公共交通機関にも時刻表がないように、時間に対してアバウトな感覚で生活をしていることが多いそうです。時間厳守の感覚を持つ日本人とは異なる習慣ですが、このゆとりが丁寧で柔軟な国民性に繋がっているとも考えら

れます。

お互いの価値観を尊重しながら、日本人とフィリピン人が協力し合える職場環境にできるよう努めていきます。

仁厚会 人事課 柿本



現地の日本語学校



飛行機より フィリピンの街並み



フィリピン料理 (シニガン)



フィリピンの概要

首都：マニラ
言語：タガログ語（フィリピン語）、英語
宗教：キリスト教、イスラム教
気候：平均気温26℃ 年間を通して暖かい
人口：1億900万人（日本：1億2000万人）
面積：299,494km²（日本：378,000km²）
備考：セブ島などの人気リゾートあり

大量調理を行うときに大切なのは、丁寧な作業です。料理の仕上がりは仕込みの仕方によって変わります。

20代から80代まで大家族のような職員構成

下処理から、調理・盛り付け・

大型厨房のこだわり

「人気メニューは？」

アンケートでは、ちらし寿司、カレーライス、ラーメン、炊き込みご飯、ぼたもち・おはぎが人気です。ぼたもち・おはぎは年2回、春と秋に手作りのものを提供しています。餡子も小豆から厨房内で手作りしています。ご高齢の患者さんからも「良い味」とお褒めの言葉をいただきました。

人気メニューは？

倉吉病院厨房では、倉吉病院・藤井政雄記念病院・在宅・デイナイトケアの食事を作成しており、1日約1,000食を作成する大きな厨房です。倉吉病院の患者さんは、以前は若く元気な方が主でしたが、徐々に年齢の幅が広がり、現在は10代から100歳まで、幅広い方へ食事を提供しています。



倉吉病院厨房

1日1,000食調理

大型厨房の全容

倉吉病院厨房

食べる楽しみの追及

病院で提供される食事は大切な治療の一環です。

エネルギーや塩分量など制限のある方も多くいますが、美味しく、見た目良く盛り付ける事、患者さんやご利用者に楽しみにしていただける食事を提供できるよう心がけています。



手作り おはぎ



倉吉病院厨房3トップ

倉吉厨房係長 平尾良太



はんぺんとえのきの真薯風

材料(2人分)

はんぺん …… 1枚(100g)
木綿豆腐 …… 1/2丁(150g)
かにかまぼこ(スティック) … 4本
えのき茸 …… 30g
片栗粉 …… 小さじ1
小ねぎ …… お好みで

あん { だし汁 …… 1/2カップ
しょうゆ …… 小さじ2
A { みりん …… 小さじ2
砂糖 …… 小さじ1
片栗粉 …… 小さじ1
(とろみづけ用)

作り方

【下準備】

- Aを混ぜ合わせておく。
- 豆腐をペーパータオルにくるみ、電子レンジ(600W)で2分加熱し、水切りしておく。

【作り方】

- ① えのき茸、かにかまぼこをそれぞれ1cm幅に切り、ほぐす。
- ② ボウルにはんぺん、豆腐、①、片栗粉を入れ、混ぜる。
- ③ 2等分にし、丸くなるよう形を整える。
- ④ 沸騰したお湯に③を入れ、弱火で8分程茹でる。
- ⑤ 別の鍋にAを入れ、煮立ったら水溶き片栗粉でとろみをつける。
- ⑥ ④を湯切りし、お皿に盛りつける。⑤のあんをかけ、お好みで小ねぎを散らす。

栄養効果など

魚のすり身からつくられるはんぺんは、良質なたんぱく質をはじめ、カルシウムやDHA・EPA、ビタミンB12等の栄養素が含まれています。カルシウムは日本人が不足しがちな栄養素の一つです。きのこ等に含まれているビタミンDと一緒に食べることで、カルシウムの吸収率が高まります。

【調理のポイント】

やわらかい食感のため、固いものが食べにくくなってきた方にも安心して召し上がっていただけます。また、“あん”をかけることで飲み込みやすくなります。フードプロセッサーで混ぜると、より滑らかな舌触りになります。中に入れる具材をひじきや蓮根、海老等に変えると、様々な味や食感を楽しむことができます。

今回のレシピ担当

ル・ソラリオン葛飾
管理栄養士/庄村 里奈



大平焼「雛人形」限定販売のご案内

ゆりはま大平園

ゆりはま大平園陶芸作業より、大平焼 季節限定商品「雛人形」のご案内を申し上げます。

可愛らしい男雛・女雛に、ぼんぼり・金屏風・黒い台座もセットにいたしました。玄関などに飾れる、可愛らしいミニサイズです。

1セット2,000円(税込)、10セット限定販売です(来園にて引き取り可能な方)。

商品に関するお問い合わせは、右記の担当者へご連絡ください。

お問い合わせ先：救護施設ゆりはま大平園
陶芸作業担当：森田、牧田 TEL：0858-32-0780



ル・サンテリオン北条



お菓子もカボチャの
マドラーも手作りです

ガーデンハウスはまむら



グループホームの
全ご利用者と職員との
合同作品を作成しました

よなご大平園



「アトリエ コーラル」様に来園いただき
素敵な作品づくりができました!

シルバー倉吉



一緒に作ると楽しいね!

ル・ソラリオン西新井



西新井多世代交流まつりで
レクリエーション大盛況!

Photo
Report

子ども虐待防止オレンジライトアップ 医療福祉センター倉吉病院

今年度、当院初めての取組みとして、鳥取県の「児童虐待防止」啓発活動に協力しました。

毎年、全国各地で行われる「こども虐待防止オレンジリボン運動」期間にあわせ、11月11日～11月15日の5日間、倉吉病院中央棟1階、2階のガラス面をオレンジにライトアップし、「子どもたちの明るい未来の実現」「子育てに優しい社会の実現」「子ども虐待のない社会の実現」などのメッセージを発信しました。



子どもたちの明るい未来を表すオレンジ色

小規模多機能型居宅介護事業廃止のお知らせ ガーデンハウス野花

平成23年6月から地域密着型サービスとして地域の皆さんに「通い」を中心に「訪問」と「お泊り」サービスを一体的に提供して参りました「小規模多機能型居宅介護事業所 ガーデンハウス野花」を令和6年11月末日をもって廃止いたしました。これまでの皆さんのご厚意に感謝申し上げます。

現在、廃止後のフロアは、「認知症対応型共同生活介護事業」を創設すべく改修工事を行っており、令和7年6月以降の開設を目指しております。開設の際には、本紙面においてお知らせいたします。

鳥取県の

トリノウタ

第2章



ル・サンテリオン北条管理者
NPO 法人日本野鳥の会鳥取県支部長

吉田 良平 医師



撮影者：田中 一郎

コハクチョウ

コハクチョウは米子市の鳥です。毎冬シベリアから飛んできます。中海・宍道湖が日本の集団越冬の南限とされており、鳥取県中部では100羽程度が天神川で^{ねぐら}塒をとりまします。米子水鳥公園に1000羽程度が来ますが、安来市の平野部で夜を過ごすようになると、水鳥公園での数が減り、県内で一番多いのが天神川になる年もあります。

食べ物は、水田の落穂や草などです。朝に塒を飛び立ち、昼間は餌場で過ごし、夕方に塒に帰ります。私の職場では、北条地区の上空をコハクチョウが列をなして飛ぶ姿が毎冬見られます。

社会医療法人 仁厚会

〒682-0023 鳥取県倉吉市山根43 TEL.0858-26-1012

病院機能評価認定

医療福祉センター倉吉病院
TEL.0858-26-1011
米子東病院
TEL.0859-56-5232

病院機能評価認定・ISO9001取得(JMA)

藤井政雄記念病院
TEL.0858-26-2111

ISO9001取得(JMAQA)

ル・サンテリオン北条	TEL.0858-36-5220	ガーデンハウスよどえ	TEL.0859-56-5210
ル・サンテリオン鹿野	TEL.0857-84-3700	在宅サポートセンター	TEL.0858-26-2346
ガーデンハウスはまむら	TEL.0857-82-6500	栄養ケアセンター	TEL.0858-26-1517
ル・サンテリオンよどえ	TEL.0859-56-4073		

介護医療院ふじい	TEL.0858-27-2210
藤井政雄記念病院附属歯科クリニック	TEL.0858-26-4276
大和保育園	TEL.0859-56-2203



仁敬だより
バックナンバーQRコード



仁厚会・敬仁会
ホームページQRコード

社会福祉法人 敬仁会

〒682-0023 鳥取県倉吉市山根55 TEL.(0858)26-3864(代)

ISO9001取得(JICQA)

地域ケアセンター マグノリア	TEL.(0858)26-3922	介護老人保健施設 ル・サンテリオン	TEL.(0858)26-3051	保育園 ババール園	TEL.(0858)26-0211
介護老人福祉施設 ル・ソラリオン	TEL.(0858)26-0115	介護老人保健施設 ル・サンテリオン東郷	TEL.(0858)32-2570	保育園 あやせババール園	TEL.(03)5613-8851
介護老人福祉施設 ル・ソラリオン名和	TEL.(0859)54-6500	障がい者支援施設 敬仁会館	TEL.(0858)26-0480	保育園 よどえババール園	TEL.(0859)56-5268
介護老人福祉施設 ル・ソラリオン葛飾	TEL.(03)3601-3711	救護施設 ゆりはま大平園	TEL.(0858)32-0780	保育園 上井保育園	TEL.(0858)26-0868
介護老人福祉施設 ル・ソラリオン西新井	TEL.(03)3899-3005	救護施設 よなご大平園	TEL.(0859)56-6226		
介護老人福祉施設 ル・ソラリオン綾瀬	TEL.(03)5613-1176	養護老人ホームシルバーク	倉吉	TEL.(0858)26-0821	